



松戸市立総合医療センター

医療連携 News

第198号 (2023.11)

編集・発行 松戸市立総合医療センター 地域連携室
〒270-2296 千葉県松戸市千駄堀993-1 電話 047-712-2511 (代)
<https://www.city.matsudo.chiba.jp/hospital/>

医療機関各位

松戸市立総合医療センター
病院長 尾形 章

初霜の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より、当院に対して一方ならぬご支援を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

医療機関の皆様方へ毎月お送りしております「医療連携News」を是非ご高覧いただき、
また患者さんへ必要な情報を提供いただけましたら幸甚に存じます。



整形外科「手・足領域」のご紹介

整形外科では4月より6名の新しいスタッフを迎え、常勤12名、非常勤4名の総勢16名で、それぞれ専門分野に分かれ、日々診療にあたっております。今月号ではその中でも日常生活の中で最もよく使う「手・足」の疾患や治療についてご紹介いたします。

※今号では、手：肘から下の領域・足：膝から下の領域とさせていただきます。



前列左より

清水文也医師・渡辺丈医師【手】・河本泰成整形外科部長【膝・関節リウマチ】・三上行雄医師【足】・品田良之整形外科兼川（リテーショ）科部長
後列左より 加藤啓副部長【脊椎】・弓手惇史医師【脊椎】・宮下智大整形外科部長兼脊椎脊髄センター長【脊椎】

【手外科疾患】



この度2023年4月から当院に赴任してきました整形外科の渡辺丈と申します。2019年に整形外科専門医を取得し、3年間千葉大学医学部附属病院にて基礎研究を行いながら、手外科の研修を積んでまいりました。

手外科疾患は下記の通り、骨折や腱断裂、神経血管損傷などの**急性期疾患**、腱鞘炎、変形性関節症などの**慢性期疾患**に大きく分けられます。

急性期疾患

頻度の高い橈骨遠位端骨折をはじめ、さまざまな上肢の骨折・外傷に対する治療を行っています。神経や血管の修復には、顕微鏡を使用したマイクロサージャリーも行っています。

また、現在9名の作業療法士と連携をとり、リハビリテーションにも力をいれております。2023年4月より、当院で治療された患者様を中心に、外来での通院リハビリテーションを始めております。



手外科の手術の様子

慢性期疾患

頻度の多い疾患としては、ばね指や母指CM関節症、手根管症候群、肘部管症候群などが挙げられます。ストレッチやエコーガイド下の注射療法、漢方療法、手術など、患者様一人一人の状態、ニーズに合わせて治療を行っています。



エコーガイド下での腱鞘内注射

日帰り手術について

上肢の手術に対し、エコーガイド下のブロック麻酔を患者様の希望に合わせて積極的に行っております。最新のエコーにより麻酔が安全かつ確実に行えるようになったため、数多くの上肢手術がブロック麻酔で施行でき、日帰り手術も可能になります。



エコーガイド下で伝達麻酔を行っているところ

上肢のブロック麻酔の件数ですが、コロナ前の2019年4-8月が5件（8%）に対し、私が赴任してからの2023年4-8月が32件（45%）と増加しており、それに伴って日帰り手術の件数は2019年が1件（1%）に対し2023年が12件（17%）と増加しております。これもひとえに近隣の医療機関の皆様のご紹介のおかげです。この場をお借りして御礼申し上げます。

手外科疾患は多岐にわたり、専門的な加療が必要で治療に難渋する症例が多くあると思われます。お困りの症例がございましたら、是非お力になればと思いますので、お気軽にご紹介いただければ幸いです。

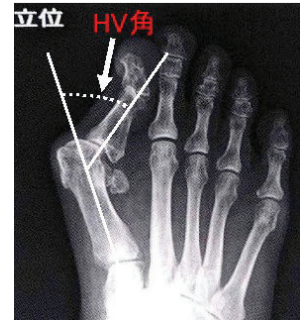
【足外科疾患】



4月からスタッフとして赴任致しました、三上行雄と申します。私は奈良県立医科大学を卒業後に、出身県である千葉大学整形外科に入局しました。関連病院で研修した後に大学院（スポーツ班）では主に足部・足関節について学び博士号を取得させて頂きました。足の事で困っている方の役に立てればと、日々研鑽に努めながら診療を行なっています。

以下、主な疾患について紹介させていただきます。

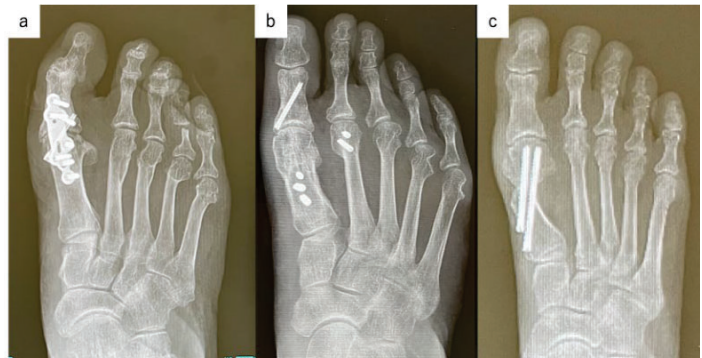
◆外反母趾◆ 世間での認知度も高く、日常診療でよく目にする足部疾患です。母趾MTP関節の痛みや外反変形による美容上の問題や、靴選びの不自由さなどの訴えで受診をされます。単純レントゲンで荷重位の足部背底像を撮影し、母趾中足骨と基節骨のなす角度である外反母趾角（HV角）が20°以上だと外反母趾とされ、変形の程度については20°から30°が軽症、30°から40°が中等度、40°以上で重度と定義されています。変形が重度であれば必ず痛いというわけではなく、痛みがなくスタスタ歩いている方もいます。痛みや胼胝や潰瘍などの皮膚障害がある場合に患者様と相談のうえ治療を検討します。まずは保存療法を行い、それでも症状の改善がみられない場合に手術を行うようにしています。



保存療法は、装具療法やリハビリを行い、変形が軽度である場合には矯正装具も勧めることがあります。

手術については母趾の中足骨骨切り術やMTP関節固定術があります。中足骨骨切り術は骨を切る部位によって遠位、近位、骨幹部に分類され術式が多岐に渡りますが、重症度に応じて選択しています。

当院ではリウマチの患者様が多いこともあって、リウマチが原因の外反母趾変形の治療も積極的に行っています。外反母趾の手術は新しい術式やインプラントが開発されてきて、少ない侵襲で行う傾向があるように思います。

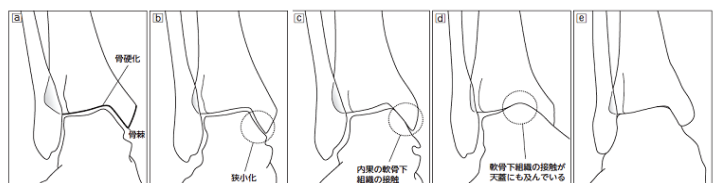


a: プレートを用いた母趾MTP関節固定術
b: 中足骨骨幹部骨切術
c: 中足骨遠位骨切術

◆変形性足関節症(足関節OA)◆ 足関節OAは、股関節や膝関節のOAほど多くありませんが時々みかけます。捻挫や骨折などの外傷、関節リウマチ、麻痺足、血友病など原因を伴う2次性のものと、原因が明らかでない1次性に分類されます。日本では正座や胡座などの日本独自の生活様式や高齢化などの要因が関係しているため、1次性の割合が欧米よりも多いと言われています。

診断は単純レントゲンで荷重位の足関節2方向を撮影し、高倉・田中分類に従って評価を行います。足関節OAと診断した場合には、外反母趾と同様にまずは保存療法を行うようにしています。

保存療法には薬物療法、装具療法、リハビリがあります。保存療法を行っても症状の改善がみられない場合に手術を検討します。



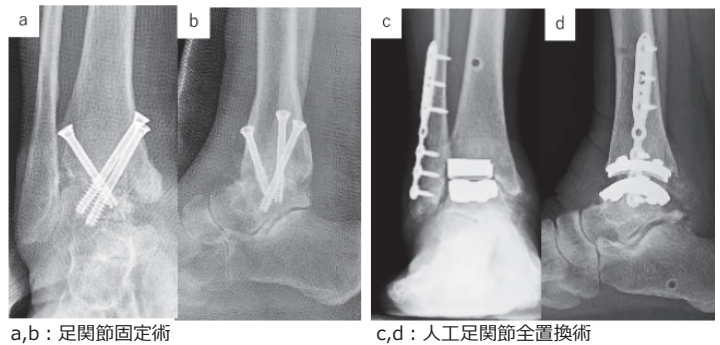
高倉・田中分類

- a: 1期 骨棘化や骨棘は存在するが、関節裂隙の狭小化は認めない
- b: 2期 関節裂隙の狭小化が認められるが、軟骨下骨組織の接触は認められない
- c: 3a期 軟骨下骨組織の接触が内果関節面部にのみ認められる
- d: 3b期 軟骨下骨組織の接触が天蓋部にも一部及んでいる
- e: 4期 全体に関節裂隙が狭小化して軟骨部が消失し、骨組織同士の接触がある

【出典】三井寛之、仁木久照；変形性足関節症の診断と治療，関節外科，vol.40，2021

手術は高倉・田中分類で3a期までは脛骨遠位での骨切術を、3a期以上では足関節固定術もしくは人工足関節全置換術(TAA)を行います。3a期以上の若年で活動レベルが高い場合と内外反変形もしくは骨破壊が強い症例には足関節固定術を、60歳以上で内外反変形が強くない場合にはTAAが良い適応とされています。

足関節固定術かTAAかの選択については利点・欠点を患者様によく説明してから決めるようにしています。



a,b: 足関節固定術

c,d: 人工足関節全置換術

足部・足関節の疾患は非常に幅広いです。何かお困りのことがあれば御紹介頂けると幸いです。



整形外科へのご紹介方法と医療連携について

現在、整形外科は**完全紹介予約制**を採っております。

患者さんに紹介状をお渡しのうえ、地域連携室（紹介予約担当）にて予約をお取りいただきますようお願いいたします。よりスムーズで最新の診断・治療を進めるため、各専門分野に分かれておりますが、ご紹介いただく先は「整形外科」としていただいて結構です。

診断、治療方針が決まった後は、ご紹介いただいた医院、診療所の先生方にご処方の継続をお願いし、連携して患者さんを診ていきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

地域連携室（紹介予約担当） TEL047-712-0685 FAX047-712-2573

9/30(土)

緩和ケア
研修会を開催
しました！！



新型コロナウイルス感染症の流行後初めて外部からも受講生を募り、ファシリテーター10名（うち5名外部講師）、受講生23名（うち4名院外より参加）の総勢33名と、実りある研修会となりました。皆さんお疲れさまでした。

地域医療連携局 がん診療対策室

臨時休診等お知らせ (2023年10月18日現在)

11月 医師の休診

呼吸器内科	石崎医師	17日(金)
整形外科	弓手医師	24日(金)
脳神経外科	渡邊医師	24日(金)
眼科	樋口医師	20日(月)、30日(木)
	豊北医師	24日(金)

12月 医師の休診

外科	守安医師	15日(金)
----	------	--------

お知らせ

リウマチ科・アレルギー科は、10月16日(月)より「**紹介予約制**」となりました。大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。
※ 詳細は別紙をご参照ください。